

MITSUBISHI

0210871HG2102



フロア形ロスナイセントラル換気ユニット

形名

VL-100ZF

VL-100ZF-PK

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この取付工事説明書をよくお読みください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身での工事は、故障や事故の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	-----------	----------------------------------	--	-----------	------------------------------------

	警告
	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因となります
	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い所には本体・壁スイッチとも取付けない 感電・漏電の原因になることがあります
	<ul style="list-style-type: none"> ●交流 100V を使用する 直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります ●外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気を取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがをすることがあります ●指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の恐れがあります ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工士）が安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火することがあります

	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●天井取付け専用です。壁には取付けない 落下によりけがをすることがあります ●高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない 火災の恐れがあります
	指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●端子台カバーは工事後必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります ●取付けの際は手袋を着用する 着用しないときがをすることがあります ●ダクト配管は屋外に向かって 1/30 以上の下りこう配になるように取付け、断熱処理を壁面から屋外まで確実にを行う 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります ●室外側ダクトには必ず断熱ダクトを使用する。準寒冷地においては室内側のダクトにも断熱ダクトを使用する 結露により家財等を濡らす原因になります ●給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフードを取付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります ●取付け後長期間で使用にならない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

規制	
<ul style="list-style-type: none"> ●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施工令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。 ●システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。 ●ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。 	<p>共同ダクト 点検口</p>

開梱

VL-100ZF-PKのみ
給気グリル.....3個

フード.....2個

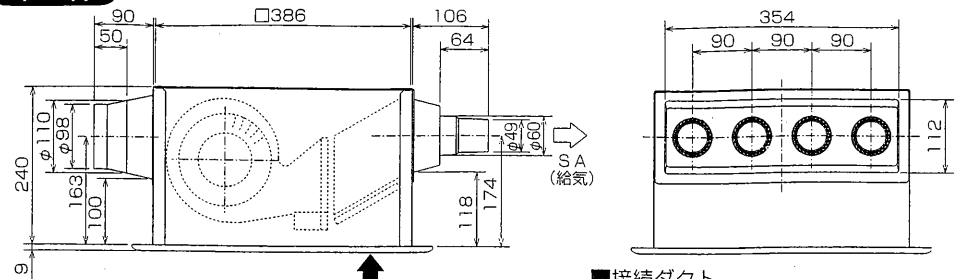
パネル、パネルフレーム、仕切板

ダクト接続板

ワッシャー.....8個	ゴムクッション.....8個
木ネジ.....22本	結露防止用テープ 長.....2本 短.....4本
天吊金具取付ネジ.....14本	天吊金具.....4個
固定金具 (VL-100ZF-PKのみ).....9個	パネルフレーム 取付ネジ.....5本

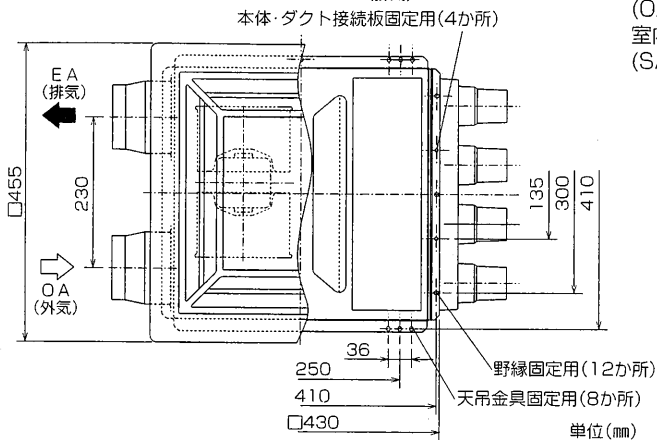
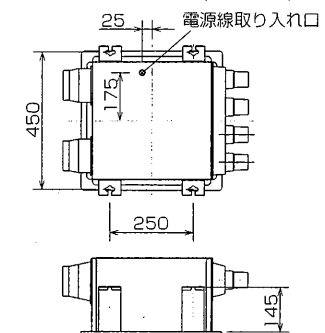
外形寸法図

本体

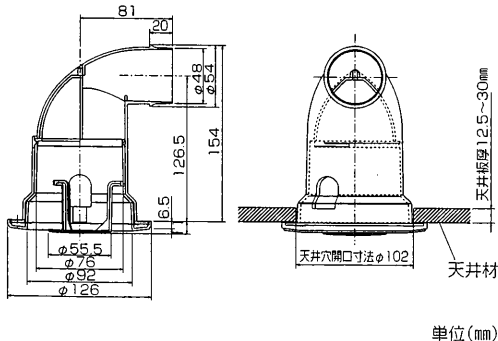


■接続ダクト
 室外側…φ100mmフレキシブルダクト (OA, EA)
 室内側…φ50mmフレキシブルダクト (SA)

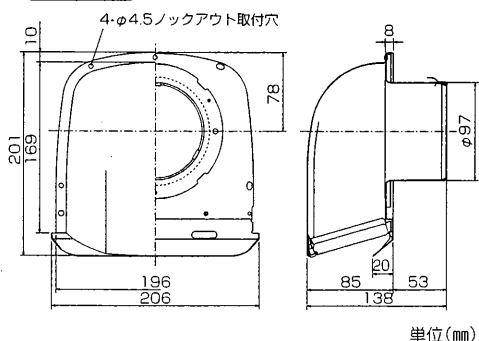
■天吊金具取付位置(4点吊り)



給気グリル (VL-100ZF-PKのみ)

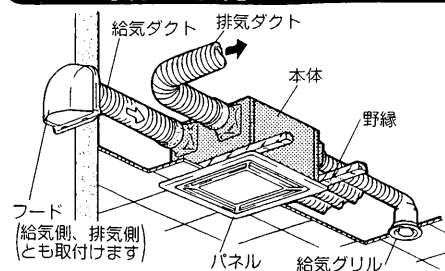


フード (VL-100ZF-PKのみ)

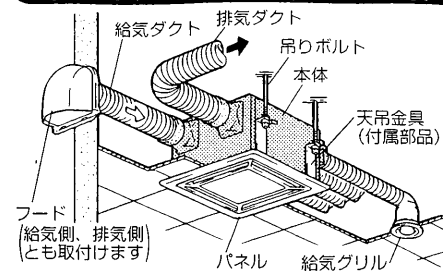


取付例

野縁に取付ける場合

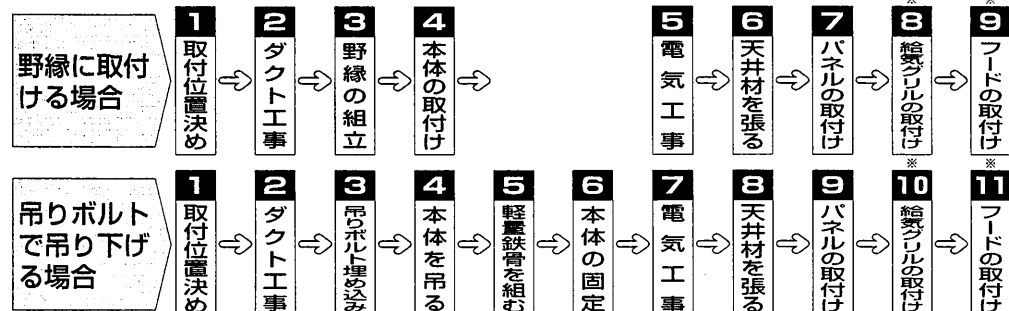


吊りボルトで吊り下げる場合



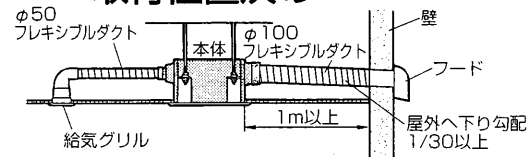
取付方法

取付手順 (例)



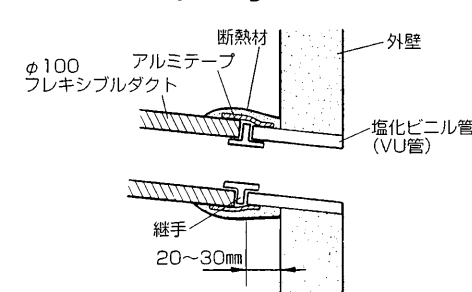
※印はVL-100ZF-PKのみ同梱

取付位置決め



取付位置・壁穴位置を決める

ダクト工事



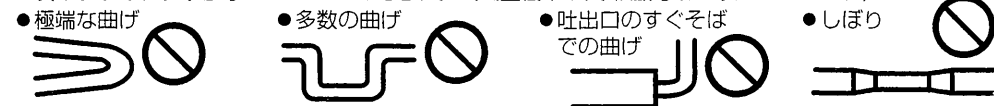
壁の給・排気穴から本体のダクト接続口位置までのダクト配管

(1)外壁に埋め込んだ塩化ビニル管 (VU管) に継手 (システム部材) を接続する。

お願い

- 外壁にVP管が埋め込まれている場合は、VP管用の継手 (市販) を使用してください。
- (2)φ100mmフレキシブルダクトを継手に接続し、アルミテープで固定する。
- (3)吹き付け式またはテープ式の断熱材を接続部に施す。

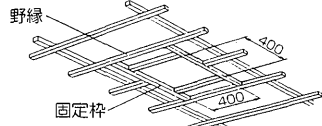
●次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)



取付方法 つづき

野縁に取付ける場合

野縁の組立て

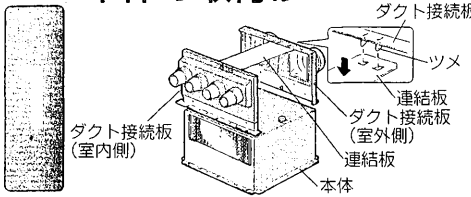


固定枠の取付け

- 左図の寸法になるように、固定枠を野縁の下端の高さにそろえて取付ける。

本体の取付け

単位(mm)



ダクト接続板と連結板の取りはずし

- 1.ダクト接続板のツメから連結板をはずす。
- 2.ダクト接続板をそれぞれ本体から取りはずす。

お願い

- 取りはずした連結板は④で使用します。なくさないようにしてください。

ダクト接続

- 1.室内側、室外側ダクトを図のようにダクト接続口に差し込む。
- 室内側ダクト4本を接続する場合は、ふさがったダクト接続口をカッターナイフ等で開口します。
- 2.ダクト接続口とダクトのすき間をアルミテープで固定する。
- 3.アルミテープの上から結露防止用テープを巻く。
- 室内側ダクトを3本接続する場合、ふさがったダクト接続口にも結露防止用テープを巻きます。

ダクト接続板の固定

- 1.ダクト接続板を固定枠の下側からあてがう。
- 2.木ネジ8本で固定する。

連結板の固定

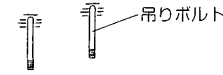
- ダクト接続板のツメに連結板を差し込み固定する。

本体の固定

- 1.電源線を本体天面の電源線取り入れ口へ通す。
- 2.本体を押し込む。
- 3.木ネジ14本で固定する。(垂直12本、水平2本)

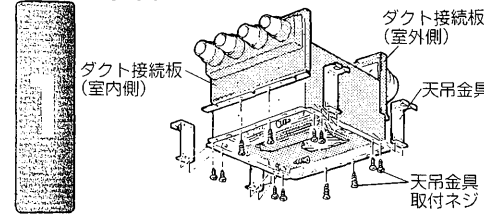
吊りボルトで吊り下げる場合

吊りボルト埋め込み



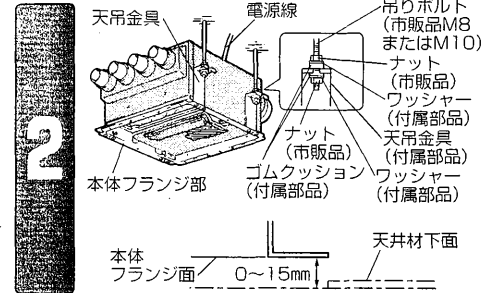
- 市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。(外形寸法図の「天吊金具取付位置」を参照)

本体を吊る



天吊金具の取付け

- 1.天吊金具4個を本体に天吊金具取付ネジ10本で取付ける。(垂直8本、水平2本)(外形寸法図の「天吊金具取付位置図」を参照して、天吊金具を取付ける)
- 2.ダクト接続板を本体に天吊金具取付ネジ4本で固定する。

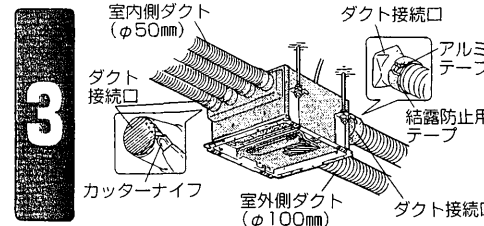


本体を吊る

- 1.天吊金具を吊りボルトに通す。
- 2.本体が水平になるように付属のゴムクッション、ワッシャーおよび市販のナットで固定する。

お願い

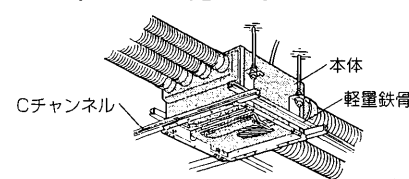
- 本体のフランジ部下面が天井材下面より上側に15mm以内に入るように本体を固定してください。
- 3.電源線を本体天面の電源線取り入れ口から通す。



ダクト接続

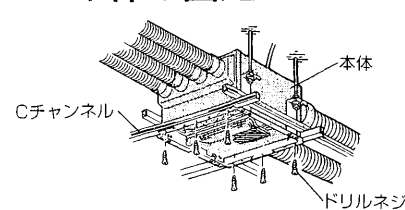
- 1.室内側、室外側ダクトをダクト接続口に差し込む。
- 室内側ダクトを4本接続する場合はふさがったダクト接続口をカッターナイフ等で開口します。
- 2.ダクト接続口とダクトのすき間をアルミテープで固定する。
- 3.アルミテープの上から結露防止用テープを巻く。
- 室内側ダクトを3本接続する場合、ふさがったダクト接続口にも結露防止用テープを巻きます。

軽量鉄骨を組む



- 軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで左図のように組む

本体の固定

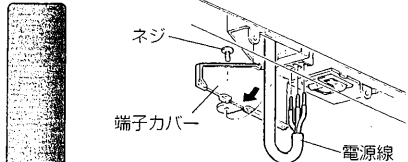


- 市販のドリルネジ6本で固定する。

取付方法 つづき

電気工事

この製品は本体スイッチのみで操作する方法と、システム部材のコントロールスイッチ (P-1600SWLなど)で操作する方法があります。



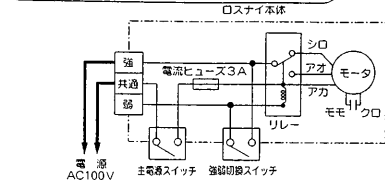
1.端子台カバーをあける

- ネジ1本をはずす。

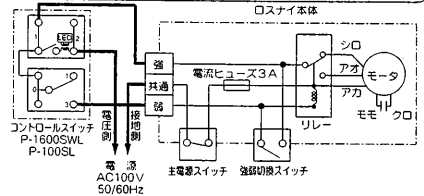
■結線図 ※太線を結線する

100V専用・誤結線注意

本体スイッチで操作する場合



コントロールスイッチで操作する場合

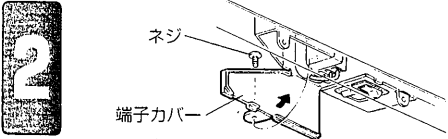


2.結線をする

- 結線図のとおり端子台に結線をする。(適用電線：VVケーブル単線φ1.6以下)
- システム部材のコントロールスイッチを使用する場合は、本体の主電源スイッチは「ON」に、強弱スイッチは「強」に設定する。

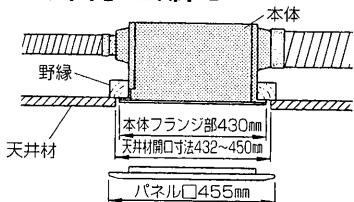
お願い

- 市販のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
- 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品(医療機器含む)に電波傷害が生じる可能性がありますので、必ず結線図に従ってください。



元通りに端子台カバーを閉じる

天井材を貼る

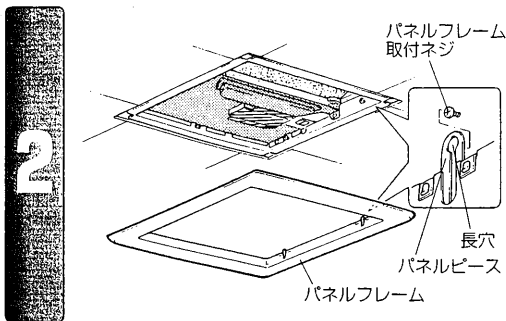
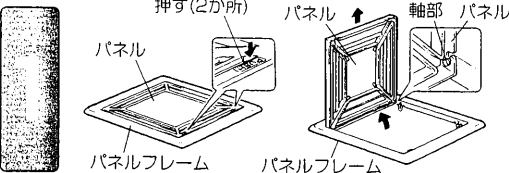


天井材の開口は□432mm~□450mmの範囲であける

パネルフレーム・パネルの取付け

パネルをはずす

- 1.パネルの「PUSH」(2か所)を指で押す。
- 2.パネルをあける。
- 3.パネルを下へ下げる。
- 4.パネルフレーム側へ寄せて、軸部からはずす。
- 5.上へ引き出す。

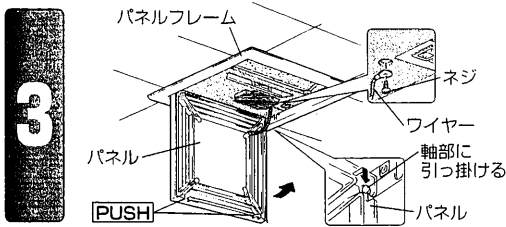


パネルフレームの取付け

- 1.付属のパネルフレーム取付ネジ4本を本体に仮止めする。
- 2.パネルピースの長穴部分4か所を仮止めした取付ネジにはめ込む。

お願い

- パネルフレームの取付方向には方向性があります。4か所のパネルピースと取付ネジを合わせてください。
- 3.パネルフレームを押し上げ、天井に密着させて仮止めしたネジを締め付け固定する。

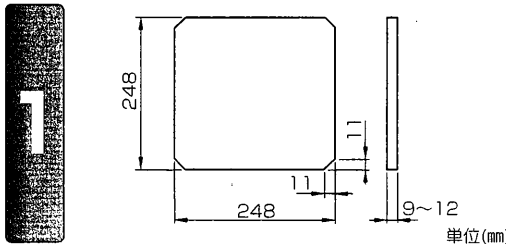


パネルの取付け

- 1.パネルをはずした逆の順序でパネルを取付ける。
- パネルをパネルフレームの軸部に引っ掛ける。
- 2.落下防止用ワイヤーの片端を本体にネジ止めする。
- 3.「PUSH」(2か所)を指で押しパネルをとじる。

パネルと天井材を合わせる場合

■ロスナイパネルが天井材と同一で見ばえの良い取付けかたです。

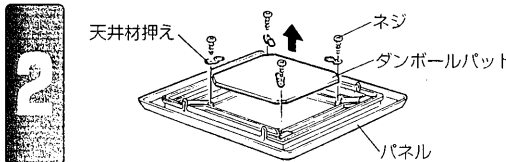


天井材の切断

- 天井材を左図のように切断する。

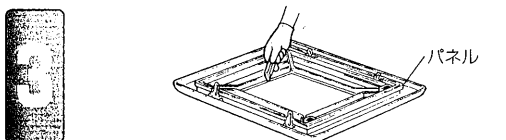
お願い

- 天井材の厚さは9~12mmとしてください。
- 天井材は振動・共鳴防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 天井材は重いもの、割れやすいものは使用しないでください。(1.0kg以下)



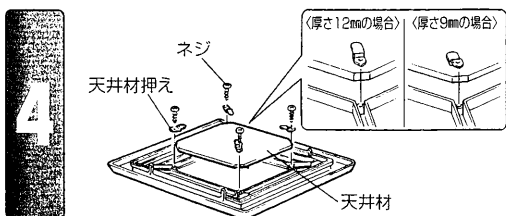
パネルの分解

- 1.天井材押え4個をはずす。
- 2.ダンボールパッドをはずす。(ダンボールパッドは使用しません)



パネルの切断

- 図のようにカッター等でパネルを切る。



天井材の組立て

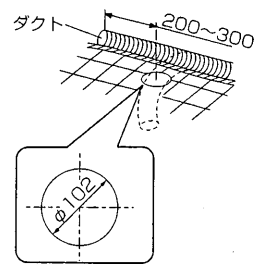
- 天井材を入れ、天井材押えで固定する。(天井材押えを元通りにネジ固定する)

お願い

- 天井材の厚みによって天井材押えの取付方向が異なります。(ガタツキのない方向で固定してください)

給気グリルの取付け (VL-100ZF-PKのみ)

1



単位(mm)

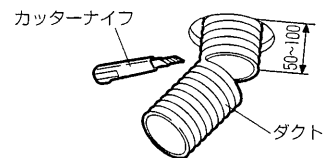
天井開口

1.グリル取付位置より200~300mm長く施工する。

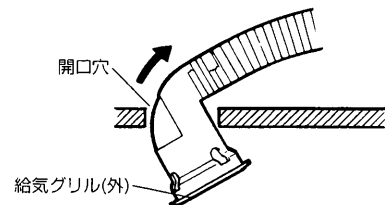
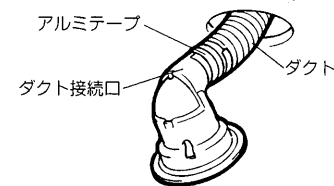
お願い

- グリル取付位置は本体から3m以上離してください。
 - ダクトが天井裏で大きく移動しないよう仮固定を行ってください。
- 2.天井に給気グリルを取付けるためのφ102mmの開口穴を開ける。

2



単位(mm)



ダクトの接続

1.室内側からダクト先端を、天井裏にダクトのたるみなくなるまで引き出し、天井から50~100mm残し切断する。

お願い

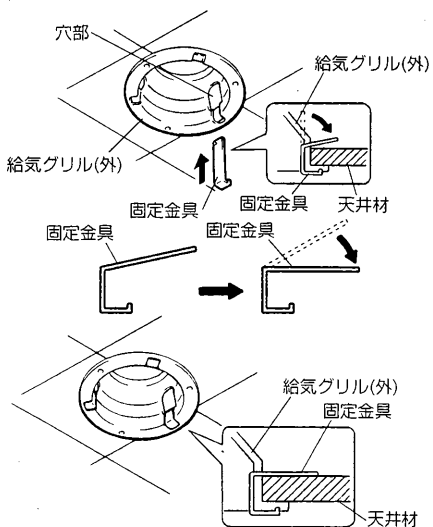
- ダクトの切断面は切り残しがないようきれいに切断してください。
 - 2.給気グリル(内)を右いっぱい(全閉)に回転させてはまず。
 - 3.ダクト先端をダクト接続口に差し込み、アルミテープで固定する。
- 4.給気グリル(外)を開口穴に押し戻す。
●押し戻しが困難な場合、給気グリル(外)をひねりながら押し戻します。

固定金具の取付け

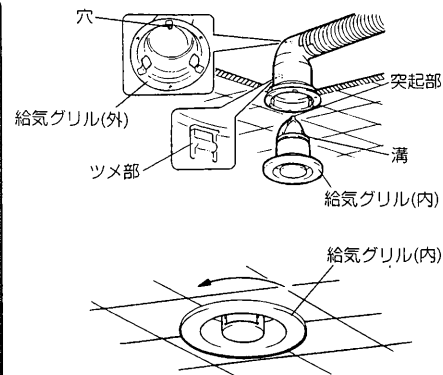
1.付属の固定金具を給気グリル(外)の穴部に差し込み天井材の厚みに合わせ折り曲げる。

2.固定金具を一旦取りはずし、折り曲げを90°よりやや深めに曲げる。

3.固定金具を再び、給気グリル(外)の穴部に差し込み給気グリル(外)と天井材をはさみ込むように取付ける。(3か所)



4

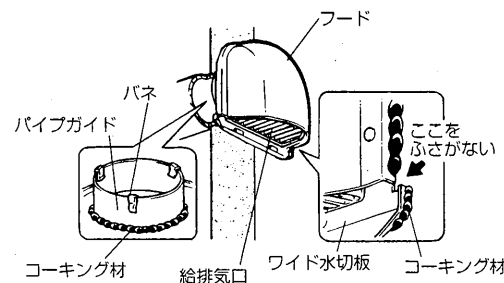


給気グリルの取付け

- 1.給気グリル(内)の溝と給気グリル(外)のツメ部を合わせ、給気グリル(内)の先端の突起部を給気グリル(外)の穴に差し込む。
- 2.給気グリル(内)を左回りいっぱいまで(全開)回転させ、固定する。

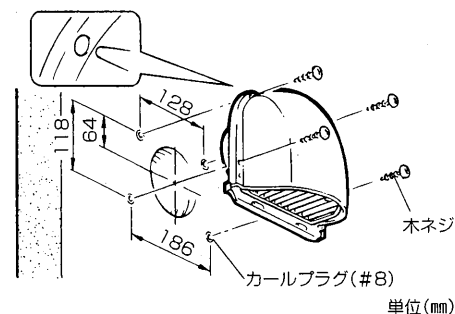
フードの取付け (VL-100ZF-PKのみ)

標準取付けの場合



- 1.フードを取付ける前に、市販のコーキング材で図のようにパイプガイドに防水処理を施す。
 - 2.給排気口が下側になるようにして、外壁面まで配管されたパイプに差し込む。(パネにより固定されます)
 - 3.フードの全周と壁面とのすき間に、市販のコーキング材で防水処理を施す。
- 図のようにワイド水切板の上部を、コーキング材でふさがらないでください。

パネで取付けできない場合、または外風が強い場所に取付ける場合



- 1.左図の寸法で、あらかじめ外壁にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あけ、市販のカールプラグ(#8)を挿入する。
- 2.フードのノックアウトのネジ穴4か所をドライバー等で抜く。
- 3.上記標準取付けの1、2を実施し、市販のステンレス製木ネジ(4本)で確実に固定する。
- 4.上記標準取付けの3を実施する。

3

取付工事後の確認と試運転

取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

■チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付け強度は十分ですか？	固定棒や吊りボルトを固定し直します	
	本体が確実に取付けられていますか？	本体固定ネジを締め直します	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します	
試運転	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
	スイッチの操作と本体動作は合っていますか？	本体スイッチの設定をし直します ↓ 直らない場合 誤結線です 結線図に従って結線を直します (本体は破損しません。電圧チェック表で確認します)	

電圧チェック表

コントロールスイッチを使用する場合

モード	スイッチ操作	端子間電圧	チェック欄
停止	切	強-共通	0V
	弱	強-弱	0V
	切	共通-弱	0V
強運転	入	強-共通	100V
	強	強-弱	100V
	強	共通-弱	0V
弱運転	入	強-共通	100V
	弱	強-弱	0V
	弱	共通-弱	100V

本体スイッチを使用する場合

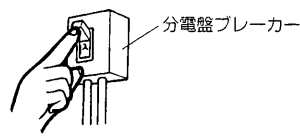
端子間電圧	チェック欄
強-共通 (弱はオープン)	100V

※測定した電圧が異なる場合は、誤配線されていると考えられます。通電を停止して、結線図に基づき結線をやり直し、再度チェックをしてください。

※端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

試運転

■できるかぎりお客さま立合いで、試運転を行ってください。



警告

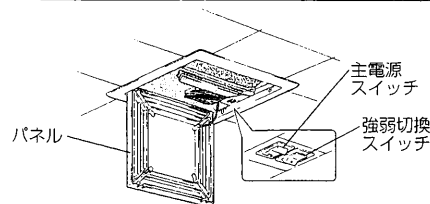
- 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります

電源を入れる

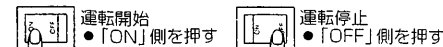
- 分電盤ブレーカを入れる。

2

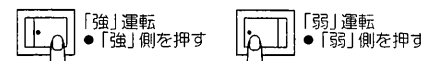
本体スイッチのみで操作する場合



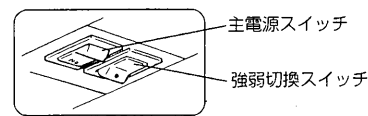
パネルをあげ、本体スイッチで操作する。
主電源スイッチで運転開始・停止をする。



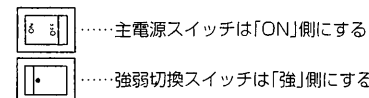
強弱切換スイッチで「強」・「弱」を切換える。



コントロールスイッチで操作する場合

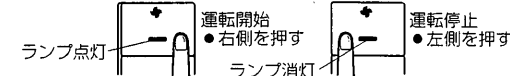


1.あらかじめ本体スイッチを設定する。

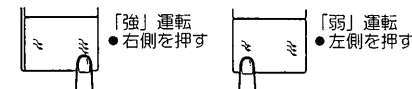


2.コントロールスイッチで操作する。

運転スイッチで運転開始・停止をする。



風量切換スイッチで「強」・「弱」を切換える。



メモ

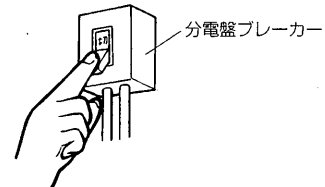
- 本体スイッチが「弱」の場合、コントロールスイッチで「強」・「弱」の切換えはできません。コントロールスイッチが「弱」の場合、本体スイッチで「強」・「弱」の切換えはできません。

3

異常な振動・騒音がないか確認する

- 確認後停止する。

4



電源を切る

- 分電盤ブレーカを切る。

お客さまへの説明

- 分電盤ブレーカとコントロールスイッチの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客さまへお渡しください。
- お客さまが不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理者へ説明してください。